

200 CTC「ベ-リンガー-インゲルハイム」・200

200

平成29年12月改訂

貯法 遮光、密閉容器、室温保存

承認指令書番号

4畜A第2924号

動物用医薬品

テトラサイクリン系抗生物質

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準 20Kg

CTC「ベ-リンガー-インゲルハイム」・200

本剤の有効成分であるクロルテトラサイクリンは、テトラサイクリン系の抗生物質で、グラム陽性菌、グラム陰性菌、マイコプラズマなどに幅広く抗菌力を示します。

製造番号：

使用期限：



Boehringer
Ingelheim

製造販売元

ベ-リンガー-インゲルハイム
アニマルヘルス ジャパン株式会社
東京都品川区大崎 2-1-1



>PE<

200 CTC「ベ-リンガー-インゲルハイム」・200

【成分及び分量】
組成 1kg 中クロルテトラサイクリン塩酸塩を 200g（力価）含有

【効能又は効果】
有効菌種 パスツレラ、ボルデテラ、ヘモフィルス・パラガリナレム、マイコプラズマ
本剤感性の次の菌種：ブドウ球菌、レンサ球菌、大腸菌、サルモネラ
適 応 症 牛：肺炎、細菌性下痢症
豚：肺炎、細菌性下痢症
鶏：呼吸器性マイコプラズマ病、伝染性関節膜炎

【用法及び用量】
一日体重 1kg 当たり、クロルテトラサイクリンとして、下記の量を飼料に均一に混じて経口投与する。
牛 5～20mg（力価）
飼料 1t 当たり、クロルテトラサイクリンとして、下記の量を飼料に均一に混じて経口投与する。
豚 100～440g（力価）
鶏（産卵鶏を除く。） 100～440g（力価）

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと
（一般的注意）
・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
・本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
・本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めることとし、本剤は遇余にわたる連続投与は行わないこと。
・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（牛、豚、鶏（産卵鶏を除く。））について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。
牛 食用に供するためにと殺する前 10日間又は食用に供するために搾乳する前 132時間
豚 食用に供するためにと殺する前 15日間
鶏（産卵鶏を除く。） 食用に供するためにと殺する前 7日間

注）使用している飼料に飼料添加物のクロルテトラサイクリンが含まれている場合は、上記用量の上限値からその含量を差引いた用量以内で使用するこ

（使用者に対する注意）
・作業時には、防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、眼、鼻、口等に入らないよう注意すること。

（取扱い及び廃棄のための注意）
・小児の手の届かないところに保管すること。
・食品と区別して保管すること。
・使用期限を過ぎたものは使用しないこと。
・開封後に使い残りが生じた場合は、袋の口を折り曲げて保管し、できるだけ早く使い切ること。
・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い、処分すること。
・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気をつけること
（使用者に対する注意）
・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
・本剤の有効成分と類似する成分で光過敏症が現れるとの報告があるので、取扱いに際しては目や皮膚に付着しないように注意すること。
・本剤の有効成分と類似する成分でヒトや実験動物に対する催奇形性に関する報告があるので、妊娠中の女性が投与作業を行う場合は注意すること。

（対象動物に関する注意）
・本剤の有効成分と類似する成分について実験動物で胎子毒性が認められるとの報告があるので、妊娠している動物には慎重に投与の可否について検討すること。
・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【製品情報お問い合わせ先】
ベ-リンガー-インゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社
〒141-8017 東京都品川区大崎 2-1-1
TEL. 03-6417-2800 FAX. 03-5435-2950

注意－獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
注意－使用基準の定めるところにより使用すること。



獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<http://www.maff.go.jp/nval/jyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。